

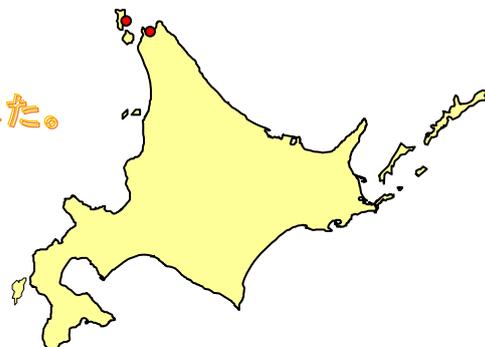
稚内市・礼文町

宗谷管内の「みなと」で下記イベントを開催しました。

今年は各みなとで様々なイベントを開催することができました。観光客も徐々に回復傾向にある中、みなとにも「にぎわい」が戻ってきました。

【稚内港】

- 7月15日（土）「WAKKANAI みなとコンサート」を開催
土木学会選奨土木遺産である北防波堤ドームで、「第19回 WAKKANAI みなとコンサート」が開催されました。4年ぶりに通常規模での開催となり、多くの市民や観光客が各団体の踊りや歌を楽しみました。また、当日は、露店に加えてキッチンカーの出店もあり、大きな賑わいを見せていました。



- 8月6日（日）「稚内副港ボートレース 2023」を開催
みなとオアシスわっかないの代表施設「稚内副港市場」が位置する第一副港で、「稚内副港ボートレース 2023」が開催されました。4年ぶりの開催となった今大会では、総勢24チームが出場し、優勝賞金15万円を目指して壮絶な戦いが繰り広げられました。



【香深港】

- 7月22日（土）「うめーべやフェスティバル」を開催
礼文島の香深港フェリーターミナル横の特設会場にて礼文島のうまいものを集めた大人気のイベント、水産まつり「うめーべやフェスティバル」が開催されました。当日は、天気にも恵まれて約300人が来場。礼文島のお土産や名産物の各種販売のほか、「ホッケの無料提供」「ウニ焼き販売」や「ウニ剥き体験」などでイベントは大盛況。特に、普段体験することができない「ウニ剥き体験」は



人気で大行列。利尻昆布を食べて美味しく育ったキタムラサキウニを自分で剥いて食べる味は格別です。4年ぶりの開催となりましたが、待ちわびていた島内外の皆さんが来場され、大変にぎわいのあるイベントになりました。

利尻島一周ふれあいサイクリング 2023 が開催

令和5年8月27日（日）、第33回目利尻島一周ふれあいサイクリング2023が、晴天の中、利尻島で開催されました。これは一周約60kmの利尻島を自転車で走行するイベントで、利尻島の豊かな自然を舞台に利尻山（通称：利尻富士）を遠望しながら爽やかな風を感じることが出来、全国からのサイクリング愛好者が集うことで交流が生まれ島内の活性化が促されることを目的とされています。

島内、宗谷管内の他、札幌や東京、大阪からの参加もありました。年齢も7歳の小学生から80歳を超える方の参加もあり、総勢約300人に上りました。

約25kmの自転車道が島内に整備されているため、安全に自転車を漕ぐことができます。本イベントは着順やタイムを競うものではないため、参加者各自の体力や技量にあったペースで大自然を満喫しながら走行していました。

前日には、利尻富士町では本イベントの交流会が、利尻町杓形港では「飲むべや喰うべやフェスティバル」が各々開催され、離島での短い夏ではありますが、賑やかに熱いひとときが楽しまれていました。

完走者全員には「完走証」が配付され、ゴール地点ある町営の温泉施設で気持ちよい疲れを癒やされて、充実した1日が終わりました。



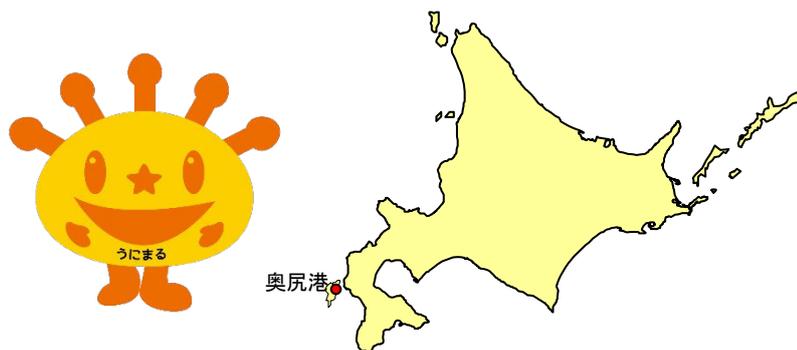
鴛泊港フェリーターミナルそばの
スタート地点の風景



完走証

奥尻町

クルーズ船「にっぽん丸」 が奥尻港へ寄港



【奥尻港】

令和5年6月10日、クルーズ船「にっぽん丸」が奥尻港の沖合へ停泊し、乗客390人がテnderボートにより奥尻島を訪れました。

奥尻島のマスコット「うにまる」や大勢の島民、奥尻高等学校の生徒達は大漁旗を振り、横断幕を掲げ歓迎しました。

岸壁では島民から日本酒やワインが振る舞われたほか、島の飲食店や漁協青年部が提供した島の海産物を使った漁師飯を召し上がっていました。

漁協青年部による島の海産物の販売も行われました。

上陸した乗客は、徒歩で奥尻港周辺の散策や観光バスでの島内周遊など、奥尻島を満喫し、お見送りに集まった島民や役場職員へ、沢山のお礼の言葉をいただきました。

テnderボートの後ろ姿が見えなくなるまで「うにまる」が見送り、「にっぽん丸」は次の寄港地へ向け出航しました。

今後も多くのクルーズ船の寄港を期待しています。



奥尻港沖に停泊した「にっぽん丸」



奥尻島へ上陸



お出迎え



島内周遊へ出発